

## 2026年（令和8年）大発会理事長挨拶

2026年1月5日

皆様、2026年（令和8年）、明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、ご家族共々健やかに新年を迎えたのではないかと拝察いたします。

また、昨年は皆様方には一方ならぬご厚情を賜り、あらためて感謝申し上げます。

本日は札幌証券取引所の大発会ということ  
で、新年の何かとお忙しい中、朝早くから多  
数の皆様のご出席を賜り誠にありがとうございます。

また、晴れ着姿でご参加いただきました皆様にはこの大発会を華  
やかにしていただき、心よりお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、日経平均株価が5万円を突破した歴史的  
な一年だったと思います。バブル期に38,915円をつけまして、その  
後三十数年低迷しておりましたけれど4万円を突破した後、一年半  
くらいかけまして5万円を超えるました。バブル期の経験とその後の  
崩壊と長い低迷を経験した者の一人といたしましては、この急騰に  
若干の不安を感じない訳でもないのですけれど、年末年始に専門家  
のお話を聞きますと安定的な成長を見込めるということで、しつか  
りとした経済成長が進んで行くものと思っております。一喜一憂す  
ることなく、過度に悲觀樂觀することなく、軸をぶらさず取り組ん



「大発会挨拶」長野理事長

で行けるようにと思っております。

弊所では昨年は色々なことに取組んで参り

まして、今年も地方取引所らしさを發揮して

色々なことにチャレンジして参りたいと思い

ます。特に2026年春には「Sapporo PRO Front

ier Market」という今後、成長を見込める企業を後押しす

る市場を開設する予定でございます。

関連する機関や色々な地域とも連携をいたしまして、北海道経済

のエコシステムの一端を担えればと考えている所でございます。

本日は大発会のゲストとして、いまや全国的な知名度を誇るTE

AM NACSの中でも、特に北海道での地域密着型の活動を重視

し活躍されている森崎博之様をお迎えしております。

新たな「午」年のスタートの合図として、森崎様に打鐘いただいて

今年一年の飛躍を皆様と祈念いただければと存じます。

結びになりますが、本年の皆様のご活躍と北海道経済の発展を祈念

いたしまして、大発会にあたりましてのご挨拶とさせていただきま

す。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。



「手締め」  
八代理事（野村証券札幌支店長）



札証の鐘「打鐘」

「素晴らしい経済も、より良い日本の力も先ず  
は「食」からです。日本の農家の皆様に感謝し  
ながら2026年も歩いて参りましょう。」

TEAM NACS 森崎博之